

1 はじめに

駒王中学校では、生徒が主体となって学校行事や様々な常置活動に取り組んでいる。本年度は、新型コロナウイルス感染症対策をする中で、できることを模索しながら「泰然自若 ～何にも動じない強い心、自分を信じる強い気持ち～」をスローガンとして活動を行った。

2 資料

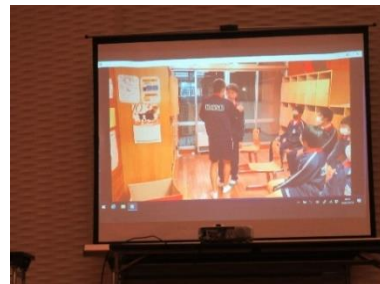
(1) 朝のあいさつ運動

毎週月曜日の朝、昇降口階段の前に立ち、あいさつ運動を行っている。例年であれば各学級委員や各委員長と一緒にやっているが、今年度はコロナ感染症対策のため生徒会役員だけで実施をした。



(2) 合唱コンクール

今年度は、茜祭（文化祭）は実施できなかったが、合唱コンクールはコロナ感染症対策を取りながら実施した。3年前から市民会館で行なっている。今年度は、会場の使用を学年ごとに入れ替えて座席を二席ずつ空けるようにして実施した。また、歌う曲を自由曲のみにするなど生徒の接触をできる限り減らし、ホールの滞在時間を短くするなど、対策を講じて行なった。開会式で流す諸注意の動画の制作やスローガン作成なども生徒会が主となり行なった。



(3) 中央委員会・ルール検討会の実施

本校では、校則とは別に、生徒たちが自分たちの学校生活をよりよくしようという目的で、年度の終わりに生徒会、各学級会長、各委員会委員長が集まりルール検討会を行っている。1・2年生は来年度の自分たちのために、3年生は後輩たちのために各クラスで積極的に話し合い活動を行い、中央委員会で集約し、全校生徒に確認している。



3 成果と課題

本校の取組として3つのことを紹介したが、生徒たちの自主性や自己有用感を高める上で、とても有効な取組であるといえる。

しかし、課題も多く残る。それは、活動の確保と時間と生徒たちへの負担である。常に学校行事に追われているため、なかなか学級会等で、話し合いをもつことが難しい現状がある。また、本校では1日1時間程度で中央委員会の活動を計画しているが、ルール検討の際には、連日の実施が不可欠となり、受験を控えた3年生には負担感がある。計画的な取組と、準備の面で教員側のサポートが重要になっている。